身体障害がある人の衣服の課題

障害福祉研究部　心理実験研究室　清野　絵

障害福祉研究部の清野です。

ここでは、身体障害がある人の衣服の課題について紹介します。

はじめに、身体障害のある人では、体型の変化や運動機能の低下等があり、障害に配慮した衣服が必要です。そのようななか、当センターでは、障害者の衣服の課題を知ってもらうための取組として、ファッションショーや展示会からなる「国リハコレクション」を行っています。

そのようななか、私たちは、国リハコレクションの来場した障害者56名を対象に衣服の機能性や好みの課題を知るためのアンケートを行いました。その結果、衣服で困っていることはありますか？という質問に、あると答えた人は約４０％でした。衣服で困っている内容で、最も多かったのはズボンについてで、着脱性、排尿、義足等への対応に困っていました。

次に、国リハコレクションが参考になりましたか？という質問に、なったと答えた人は約５６％でした。参考になった内容で最も多かったのは、着脱の工夫についてでした。

私たちは障害のある人の社会参加の促進のため、今後も障害者の衣服についての研究について取り組んでいく予定です。